



米本隆記 議員

問

恵みの里公社も3年がたち、平成22年度は事業の見直しが予定されている。農家は農産物、加工品に至るまでこの地で取れた物を広く活用し、県内をはじめ各地の消費者に喜んでもらえる物を作って公社に出荷している。

恵みの里構想でもあるように物販の中心になるのは

大山ブランドの販売は付加価値向上に努める

町長

恵みの里公社である。販売に努力し農家所得を向上させるのが、町で補助する公社の役割と考える。

大山ブランド品の販売促進はいかにするのか、農産物処理加工施設では、大山ブランドとして何を加工するつもりか。

理事長である町長の考えは

答 森田町長

人員体制や集荷体制の整備を進め、今年度以上に事業推進に取り組む。

公社は、道の駅やみくりや市の直売所のほか、米子市内や岡山市内のスーパーに生鮮野菜を中心とした物産を出荷して好評を得ているが、出荷量が少なく消費者の要望に応えきれない。

今年度は、こだわりの生産体制作りや品質向上活動を通じた付加価値向上を図っていききたい。

農産物処理加工施設は当面加工技術の向上や従業員の習熟と経営基盤を確立するために、カレー・コロッケなどの受託商品の生産が中心となる。

こだわりの逸品塾の継続や、独自研究を行い、本町の農畜産物を生かした製品づくりに取り組んでいく。



大山ブランドを求めて(道の駅)



野口昌作 議員

問

本町の交通事故件数は、平成20年度53件、21年度41件発生している。交通事故死者数は、20年度2人、21年度7人となっている。本町では交通安全対策として、交通安全指導員体制が確立されている。

交通安全組織として、八橋交通安全協会の各支部と交通安全母の会がある。

交通安全組織の強化を

町長 対策協議会を結成する

答 森田町長

多数の交通事故や死亡事故が発生し、1月21日に緊急の交通安全対策会議を召集した。

会議では、関係機関と住民がひとつになり、組織を作るべきだと意見が出た。

そして、3月19日に、八橋警察署・交通安全協会・母の会・安全運行管理者協議会・交通安全指導員・老人クラブ・区長会等で「大山町交通安全対策協議会」を結成する。

また、県では毎月1日と15日を「交通安全にみんなを取り組む日」と定めている。対策協議会では、家庭・地域・事業所で「交通安全旗」を掲げてもらい、交通安全の意識を高めるきっかけを作りたい。



交通量が多い9号線

名和地区の拠点保育所はよく検討して結論を

教育委員長

問

保育所再編について意見を聞く会が先日各地区で開催された。

保育所再編検討委員会の協議結果では大山・中山地区とも高規格道路のインターに近い所が候補地となっている。

しかし、名和地区では、名和小学校付近か庄内小学校の跡地の2通りの案になっている。将来を考えれば、サブ保育所の存続が見通せ



再編が検討されている保育所

答 伊澤教育委員長

意見を聞く会では、町有地の有効利用や工事期間等を考えると庄内小跡地に、保小・中連携の進めやすさや将来の交通アクセスの面を

答 森田町長

教育委員会で精力的に協議してもらっている。町民から「保育所をここに造ってよかった」と言ってもらえるよう検討・協議していく。

山香荘に大山芝の活用を 町長 サッカー場は人工芝

問

本町は、良質な芝の産地である。

①町長は施政方針で、山香荘リニューアル構想を「交流人口創出・地域活性化策」として検討する」と述べた。

リニューアルは、人工芝のサッカー場を計画しているが、人工芝は選手寿命を短くすると聞く。認識は。

②リニューアルには、近隣の芝畑への洋芝混入の危険性から、自然芝の使用は考えていないと思う。

しかし、管理が省力化できる鳥取生まれの「グリーンバードJ」という野芝が

答 森田町長

現在開発されている人工芝は日本サッカー協会の定める基準で公認されている。開発当初と比べ、選手の安全を考えた基準となっており、心配していない。

答 森田町長

山香荘では近隣の野芝等への影響から、洋芝は使用できない。「グリーンバードJ」は、管理体制等の

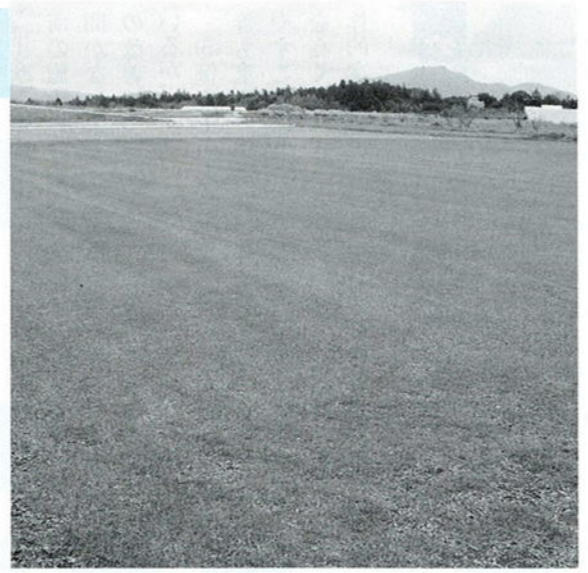
答 伊澤教育委員長

③2年前の大山小の芝生化は、保護者・児童・教職員で行い、住民の管理で現在に至っている。

本町が芝の産地であることも考慮し、管理体制等も検討したい。

新設される拠点保育所で取り組みができればと考えている。

このほか、農地団体等の体制と景観形成の質問をした。



特産の大山芝